



ゆがら

マーク制作：関知磨子(秋津コミュニティ:蚊帳の海一座)

秋津のホームページ、<http://www02.u-page.so-net.ne.jp/ca2/jun50fty/>から「融合研」をリンク
融合研のトップページは、http://www02.u-page.so-net.ne.jp/ca2/jun50fty/yugo_index.htm

本号の内容

- 1 ミニフォーラム(新潟県上越地方大会)の計画進捗状況
ホームページより
事例発表者募集
- 2 会員の執筆記事・発表物 ()内は、執筆者または内容等
「社会教育10月号」(融合研フォーラム、宮城県玉沢小(野澤令照)、広瀬隆人)
「私たちの生活学校」(宮崎稔)
「千葉教育」(江口勝善)
- 3 新聞等掲載記事
「読売新聞」(庄子平弥) 「上越新聞ほか」(和泉裕一) 朝日小学生新聞(秋津地区)
地域新聞(江口勝善)
- 4 研修情報
環境教育関係(渡辺靖久)
学校事務職員研修より(倉林昌子)
会員のメールからの情報
- 5 会員以外の情報から(博物館の出前授業)
- 6 連絡いろいろ
事務局会議の様子
連絡先・メールアドレスの変更
同封の冊子「学校内での救急処置」について
「学社融合」(結城光夫、清水英夫、清水隆、上條秀元)の紹介

「融合研 冬季フォーラム2001 in 上越」について

活発な活動を続けている新潟県の会員が、フォーラムの開催を立候補してくれて、様々な準備をしています。その準備の過程自体が、もう融合研の理念そのものです。

冬のフォーラムが、習志野(秋津)を離れるのは初めてです。今後いろいろな地域へ持ち回って開催していただく予定です。形式的にもその一つの形になるとも考えられますので、以下の内容をご検討くださって、是非ご参加ください。

1. 日時 2001年2月3日(土)13:00~2月4日(日)12:00
2. 場所 新潟県上越市「市民プラザ」(宿泊を希望する人は、「国民年金健康センター上越」)
3. 内容 事例発表(6以上の事例を予定) 会員で発表を希望する方は、融合研事務局まで
FAXでご連絡ください。 融合研事務局FAX 043-489-7809

パネルディスカッション 「学社融合の実践から理論をつくる(仮)」

パネラー(予定)・習志野市教育センター 宮崎稔(融合研会長)

・習志野市秋津コミュニティ会長 岸裕司(融合研副会長)

・鹿沼市教育委員会 越田幸洋(融合研プログラム研究開発委員長)

・新潟県から・渡辺正親(生涯学習センター所長 融合研会員)

他にも新潟県から実践家が登壇し、会場と意見交換をしながら進めます。

詳細および申し込みは、同封の案内をご覧ください。

またホームページは、<http://www.ne.jp/asahi/ortho/kankyo/>

このフォーラムに参加し、ご自身の実践事例を発表したいという人を募集します。

また、事例発表者にはならなくても、活動の状況を資料で知らせたい、あるいは情報交換の一助としたいという方も事務局までご連絡ください。

会員の執筆記事・発表物 (内容を同封しました)

たくさんの会員がいろいろな雑誌等に執筆しています。とても全部は取り上げられないほどです。ここでは、代表的なもののほか、事務局へ届いたものの中からその地方の人しか目に触れないものから一部分をとりあげました。

これからも、事務局へ情報をお寄せください。()内は、執筆者または内容です。

広く掲載されたものや事務局へ届いたものは、会報への転載を了承されたものとさせていただきます。転載されたくない場合は、その旨ご連絡ください。

「社会教育10月号」(8月の融合研フォーラム、宮城県玉沢小(野澤令照)、広瀬隆)と、融合研に関する多数の内容が掲載されています。発行は(財)全日本社会教育連合

「私たちの生活学校」(宮崎稔);(財)あしたの日本を創る協会発行

「千葉教育」(江口勝善);千葉県総合教育センター

他に「社会教育」;(財)全日本社会教育連合会発行、「総合教育技術」;小学館発行、「悠」; ;ともに(株)ぎょうせい発行、「食農教育」;(社)農山漁村文化協会発行、「子どものしあわせ」;草土文化等々からも、多くの会員の実践が発表されています。

新聞等掲載記事 (内容を同封しました)

会員の活動がいろいろなところで紹介されています。これもとても全部は取り上げられないほどです。事務局へ届いたものの中から時代性のあるものやその地方の人しか目に触れないものから一部分をとりあげました。

これからも、事務局へ情報をお寄せください。()内は、紹介された人または地域です

「読売新聞」(庄子平弥) 「上越新聞ほか」(和泉裕一) 朝日小学生新聞(秋津地区)

地域新聞(江口勝善)

その他の情報 (内容を同封しました)

会員が、所属する組織の中で活動している事例が報告されたり、関連する別の団体から情報が届いたりしています。また会員ではありませんが、会員に関係しそうな情報もお届けします。このような情報は、会員の活動に役立つものも少なくないと考えます。

- ・環境教育関係(渡辺靖久)
- ・学校事務職員研修(倉林昌子)
- ・メールからの情報(奥田睦子)
- ・博物館の取り組み(会員外)

事務局会議の情報 (内容を同封しました)

事務局では定例的に勉強会をかねた会議をおこなっています。その勉強会での話題(融合フォーラムの意義や融合研の課題等)を要約して掲載します。

今回は、11月1日(月)と、12月20日(水)の話し合い内容をお知らせします。

なお、会員同士で日常的に意見交換をしながら勉強をしたいと思えます。ご意見のある方は、事務局へ資料を郵送くださるか、メール等で意見をお寄せください。

ホームページは、[秋津のホームページ](http://www02.u-page.so-net.ne.jp/ca2/jun50fty/)、<http://www02.u-page.so-net.ne.jp/ca2/jun50fty/>から「融合研」をリンクする。

融合研のトップページは、http://www02.u-page.so-net.ne.jp/ca2/jun50fty/yugo_index.htm

ここには、掲示板もあるので、自由に意見を書き込んで情報交換ができるようにしました。どうぞ、大いにご利用いただきたいと思えます。

会費は郵便局へ振り込んでください

これまで千葉銀行と郵便局とに融合研の口座を開設していましたが、どうも千葉銀行の方がうまく入金できないことがあるようでご迷惑をお掛けしているようです。原因を調べていますがはっきりしません。そこで申し訳ございませんが、

これからは、会費等は郵便局へ振り込んでいただきたいと思います。よろしく願います。

(記号)10500 (番号)42592921 宮崎稔 (住所)285-0843佐倉市中志津7-17-4融合研

会員名簿(2000年度版)の追加・訂正について

2000年度版の会員名簿で、次の方の追加と訂正をお願いします。

会員番号240 齊藤正一さん ~ 250 瀬部俊司さんが9月以降、新規に入会しました。

別紙をお届け済みの名簿に貼付してください。

次の方が、変更です。

- ・ 会員番号13 館岡靖哲 メールが『tateoka@ebony.plala.or.jp』
- ・ 62 澤田 実 メールが『sawada@edu-c.pref.tochigi.jp』
- ・ 86 高岡正種 メールが『tm1344@yytv.ne.jp』
- ・ 134 清澤 潔 メールが『m1217@beige.ocn.ne.jp』
- ・ 160 栗栖幸信 メールが『kurisuy@bronze.ocn.ne.jp』 下線部を訂正
- ・ 202 阿久津充 会社名を『学校事務職員』に訂正

記載に誤りや変更がある場合は、事務局までご連絡ください。(メールをお持ちになられた方で、記載もれの場合やアドレスが違っている方、変更の方は、メールで願います。

新役員人事について

8月の市川でのフォーラムのあと、恒例の2000年度融合研総会が開かれ、新しい役員が承認されました。

(会長)宮崎 稔 再任

(副会長)岸 裕司 再任 ・ 庄子平弥 再任

(監事)野澤令照 再任 ・ 小山みさー新任

(プログラム研究開発委員長)越田幸洋 新設

(事務局長)宮崎雅子 再任 ・ (事務局員)矢吹正徳 再任 ・ 種田祝次 新任、押田敏郎 新任

本の紹介

「学社融合」(会員の執筆者; 結城光夫、清水英夫、清水隆、上条秀元); (財)全日本社会教育連合会発行
理念や事例が豊富です。「鹿沼発・学校が変わる、地域が変わる」(草土文化) 「学校を基地にお父さんのまちづくり」(太郎次郎社)同様、お手元にいかがでしょうか。

同封の冊子について

融合研会員のみなさまへ

同封の冊子『学校内での救急処置』は、融合フォーラム 2000in 市川に参加されたセントジョン アンピュランス ジャパン協会の方が贈呈下さいました。同誌は同協会に対して社会福祉・医療事業団(子育て支援基金)の助成事業により作成されました。会員のみなさまにご利用いただきたく願います。